

東京YMCA社会体育・保育専門学校スポーツインストラクター科  
第1回教育課程編成委員会議事録

日 時：令和元年8月24日（土）18：00～19：30

場 所：東京YMCA社会体育・保育専門学校1階会議室

出席者：萩 裕美子、星住 秀一、堀 雄二、佐治克彦、杉内 伸生

I. 教育課程編成委員会の設置趣旨の説明

「教育課程編成委員会規則」の説明が堀校長よりあり、これを確認した。

II. 学校長全般報告

学生の質が年々変化していることを感じる。学校として柔軟に対応することが望まれている。現場主義の特徴を活かし、本校で完結するのではなく、実習先の企業や地域の人々も含め、多くの目で未来を担う若者を育成していきたいと考えている旨の報告がなされた。

III. 報告・協議

- ・別紙資料をもとに昨年度の実習、集中講義、就職などの報告と説明がなされた。（杉内学科長）
- ・専門学校はより最新の現場の状況に合わせて授業を組むことが望まれる。業界の新しいトピックスを紹介するネットワークがYMCAにはあると思うので、より積極的にアンテナを張って、若者の育成に力を入れて欲しい。（萩委員）
- ・子どものスポーツ指導に興味ある学生が、幼稚園教諭や保育士の資格を取得しようということはよいチャレンジである。スポーツ以外からも学びを得て、一層幅広い人間力を身に付けて社会で活躍して欲しい。（星住委員）
- ・興味深い授業が行われているので、それを積極的にホームページで発信してはどうか。それを見た高校生などが、その先生やこの学校で学びたいという例も出てくるのではないかと。（星住委員）
- ・授業評価については改善の余地があると感じている。今後、学科会で検討する予定である。本日もご意見頂いたように、担当者任せにならぬよう配慮しながら進めたい。（佐治副校長）
- ・水泳に関心のある学生が減っている現状は続くと思われるが、単なる習い事のひとつではなく「生命を守る」という観点からも水泳は重要と考えているので、業界とも連携を取り対処してゆきたい。（堀校長）
- ・来年を見据えて、障がい者スポーツの理解を深めることを強調してはどうか。メディアで取り上げられることが増え、一般の人々にも多くの情報が届くことになるだろう。（萩委員）

IV. その他

堀校長より、来年の夏はオリンピック・パラリンピックでスポーツに対する社会の見方がまたひとつ深まる可能性がある。本校の学生にも間接的直接的にボランティアなどを通じてその意識を高め、将来現場で活躍して欲しいと願っている旨挨拶があり、委員会を閉会した。

以上

記録 佐治克彦